



ガンバリ号と周辺がきれいな姿に

■ 7月20日、夕風会ガンバリ号保存会と鹿児島水産高校カッター部の皆さんが、ガンバリ号の再塗装と周辺の美化作業を行いました。



枕崎清掃社がボランティア清掃を実施

■ 8月7日、お墓参りで混雑するお盆を前に、有限会社枕崎清掃社が市営墓地のボランティア清掃を実施しました。敷地内や駐車場の草払いなどを行い、より安全に利用できるようになりました。



満開のひまわり畑

■ 8月中旬ごろ、地域おこし協力隊の清水隊員が白沢地区に手掛けたガーデン「Whispering Meadow」で、ひまわりが満開を迎えました。青空の下、一面に咲き誇る鮮やかな黄色の花々が、訪れた人たちの目を楽しませました。



市内各神社で六月灯を開催

■ 7月下旬、市内の各神社で鹿児島の夏の風物詩「六月灯」が開催されました。枕崎神社では、地域の小中学生、高校生による巫女舞の奉納や太鼓と花火の共演などが行われました。



久しぶりのカツオに歓声

～市内中学生が伝統の一本釣りを体験

7月22日、枕崎の伝統的な漁法であるカツオの一本釣りを体験する「かつお釣り体験アドベンチャー」が開催され、市内の中学生8人が参加しました。近年はカツオが釣れないことも多い中、今回は久しぶりに1キロから5キロほどのカツオ7匹を釣り上げ、船上は大きな歓声に包まれました。このほか、約1キロのキハダマグロも釣れ、参加者は魚の力強い引きを楽しみながら、枕崎ならではの漁業の魅力を体感しました。

参加した生徒は「釣りが好きなので参加しました。実際にカツオを釣ってみて、一本釣りの大変さを知ることができました」と話しました。



通山区チーム優勝

～第71回枕崎市少年野球大会を開催

7月25日・26日の2日間、市営野球場および市営グラウンドで、市自治公民館連絡協議会主催の少年野球大会が開催され、9チームが熱戦を繰り広げました。

野球経験の有無に関わらず一生懸命な子どもたちの姿に、保護者や地域の皆さんの応援も大いに盛り上がりしました。

大会結果は、次のとおりです。
優勝＝通山区チーム、準優勝＝大堀・下野原チーム、3位＝塩屋チーム、桜山東チーム



①洋上慰霊祭(鎮魂のこたば) ②洋上慰霊祭(献花) ③三島村の子どもたちとジャンベの演奏体験 ④交流する子どもたち



①オープニングセレモニーでのテープカット ②トークイベントで市長とお茶会を行うくっきー！氏 ③会場でくっきー！氏の作品を楽しむ来場者 ④サイン入りグッズを受け取る1万人目に来場したご家族



9年ぶりに「枕崎市少年の船」開催 ～黒島との交流を通して歴史や絆を学ぶ

7月18日、「枕崎市少年の船」が9年ぶりに開催され、市内の子どもたちや保護者らが鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」に乗って黒島を訪れました。これまで天候などの影響により実施できない年が続いていましたが、今年は無事に開催することができました。航行中には洋上慰霊祭が行われ、参加者は黒島流れの犠牲者をしのび、海上へ献花を行いました。

黒島の片泊港では、ジャンベの演奏による歓迎を受けた後、島民との交流や慰霊碑「白衣観音」への参拝を通して、枕崎と黒島の歴史やつながりについて学びました。

参加した子どもたちは、船旅を楽しみながら、枕崎と黒島を結ぶ歴史や人とのつながりを肌で感じる一日となりました。

多くの来場者でにぎわった「くっきー！乙女展」開幕 ～1万人目の来場者には記念品のプレゼントも

7月26日から8月30日まで、南浜館で「くっきー！乙女展in枕崎」が開催されました。

初日には、南浜館において、くっきー！氏も出席してオープニングセレモニーが行われ、テープカットで展覧会の開幕を祝いました。また、市民会館ではトークイベントが開催され、くっきー！氏のトークで会場は大いに盛り上がりしました。

南浜館の会場には、くっきー！氏の独創的な発想から生まれた個性豊かな作品が並び、訪れた人たちは一つ一つの作品を鑑賞しながら、くっきー！氏ならではの世界観を楽しみました。

8月12日には、来場者数が1万人に到達。記念すべき1万人目の来場者には、くっきー！氏のサイン入りグッズが贈られました。

期間中は市内外から2万人を超える来館があり、にぎわった「くっきー！乙女展in枕崎」は、8月30日に幕を閉じました。